

(対象事業：地域連携強化事業・地域文化資源整備活用事業・ミュージアム支援地域人材育成事業・国際交流拠点形成事業)

事業名：三館合同企画展「本陣被仰付」展

事業者名：三館合同企画展「本陣被仰付」展実行委員会
(中核館：手銭記念館)

住所：〒699-0751 島根県簸川郡大社町杵築西 2450-1

TEL：0853-53-2000

FAX：0853-53-2000

HPアドレス：

連携事業者名：松江市宍道菟古館・荒神谷博物館

会場：手銭記念館・松江市宍道菟古館・荒神谷博物館

事業期間：平成22年5月1日～平成23年1月31日



1. 館の使命と本事業の関係

今回合同企画展を行う三館は、小規模な施設ではあるが、それぞれの地域の固有の文化と歴史を伝える使命を担っている。しかし、単独の企画展では、テーマや開催時期が異なるうえに、PR不足が目立ち、せっかくの優れた所蔵品の紹介を充分に行うことができない。しかし、各館が所蔵する貴重な作品を同時期に紹介することで、作品を近隣で比較しながらの鑑賞が可能となり、出雲の文化のレベルの高さを理解し、美術品への知識を高めてもらうことができる。

2. 企画内容

①事業目的

合同企画展を行う三館は、いずれも小規模な美術館・博物館である。予算規模も小さく、大掛かりな企画展などの開催は困難な状況の中にある。しかし、それぞれの館に関係する旧家には江戸時代中期～後期にかけての画才や技術に秀でた人達が宿泊滞在して残した優れた絵画や工芸作品が今に伝えられている。こうした作品の中には全国的に評価の高い作品があり、これらを同時に公開することで、この地域の旧家の美意識の高さを伝え、地元の文化活動を支えてきたことを紹介する。

また、当時の料理の再現を試みるなど、地域住民の地元の歴史や美術への興味を深めるとともに、各館の活動の活性化につなげようとするものである。

②事業概要

- ①各館や地元旧家が所蔵する、江戸時代中期～後期の作家達の絵画や工芸品を展示する。
- ②本陣や豪商宅に松江藩士などが宿泊する際の隠れたエピソードなどを、パネル等で紹介。
- ③企画展の開催と並行して、講演会や美術基礎講座（美術品の取扱方）を実施する。
- ④木幡家、手銭家の記録に残る、本陣料理や出雲のおもてなし料理を地元の人々の協力で復元する。
- ⑤斐川町の勝部家は、明治維新に松江城を救った豪農だが、その事実がほとんど知られていないため、地元の中学校の美術部と連携してそのエピソードをスライドショー風に制作し、県内の小中学校をはじめ社会教育施設等に配布する。
- ⑥今回展示する作品から超高精細のスキャン画像を作り、学校での美術教材として利用。
- ⑦展覧会に展示した作品を中心とした展示図録を制作する。

3. 事業実績

(1) 事業の主な内容及び日程

① 合同企画展『本陣被仰付』展

■前期：10月9日（土）～10月24日（日）

■後期：10月29日（金）～11月23日（木）

■主な展示品

【松江市宍道菟古館】池大雅「夏雲霊峰」、円山応挙「双鶴図」狩野派「源平合戦図屏風」他

【荒神谷博物館】池大雅「騰雲飛濤図」「山水図」、風外本高「神虎之図」「春秋山水図」他

【手銭記念館】曾我蕭白「四季山水図押絵貼屏風」藝愛「柘榴寿帯鳥図」狩野探幽「寿老鶴松竹梅図」他

(2) 関連行事

月日	事業内容	実施館	参加者
10月9日	美術基礎講座	手銭記念館	32名
10月16日	美術基礎講座	荒神谷博物館	40名
10月17日	講演会(講師:藤間亨氏)	宍道菟古館	15名
10月19日	出雲おもてなし料理再現	手銭記念館	30名
10月24日	講演会(講師:並木誠士)	手銭記念館	50名
10月26日	出雲おもてなし料理再現	荒神谷博物館	30名
11月7日	美術基礎講座	宍道菟古館	22名
11月14日	講演会(講師:山下裕二)	荒神谷博物館	44名



出雲のおもてなし料理再現の様子



美術基礎講座の様子(手銭記念館)

2) 入館者の数

参加者人数	延べ	5,703人
内 訳：松江市宍道菟古館		2,526人
荒神谷博物館		2,248人
手銭記念館		929人

(3) 事業により作成した印刷物等

- ①ポスター 500枚
- ②チラシ 16,000枚
- ③展示図録『本陣被仰付』 1,000冊
- ④DVD『松江城を救ったお百姓さん』 800枚
- ⑤ポスター・図録送付用 大型封筒

(4) 実施事業に関する新聞記事等

○新聞記事

＜講演会講師等関係者執筆記事＞

- ①10月4日付山陰中央新報「名画が伝える旧家の文化」 執筆：佐々木杏里(手銭記念館)
- ②10月11日付山陰中央新報「本陣のしつらえ」 執筆：藤間亨(出雲文化伝承館名誉館長)
- ③10月18日付山陰中央新報「手銭家所蔵絵画とその周辺」 執筆：並木誠士(京都工芸繊維大)
- ④11月9日付山陰中央新報「江戸時代絵画の底力」 執筆：山下裕二(青山学院大学)
- ⑤11月12日付山陰中央新報「本陣被仰付」展の観覧 執筆：小林准士(島根大学)
- ⑥11月17日付島根日日新聞「図録『本陣被仰付』によせて」
執筆：藤沢秀晴(元平田図書館館長)

＜新聞社取材記事＞

- ①10月10日付 山陰中央新報 「本陣所蔵美術品を紹介・島根東部3旧家が合同展」
- ②11月25日付 島根日日新聞「三館が合同企画展」
- ③10月・11月 りびえーる 美術基礎講座・講演会記事掲載

＜新聞広報＞

- ①10月2日付 山陰中央新報ラジオテレビ面 カラー5段広告

○テレビ、関連誌等

＜テレビ＞

- ①9月29日 山陰中央テレビ 事前告知放送 以後スポット放送
- ②NHK松江 NHKTV電話 合同企画展PR
- ③10月9日 山陰中央テレビ オープニングの報道
- ④10月18日 出雲ケーブルテレビジョン 美術基礎講座報道

＜雑誌等＞

- ①『目の眼』里文出版 10月号 合同企画展PR
- ②『小さな蕾』創樹社出版 11月号・12月号 合同企画展PR
- ③『歴史研究』歴研 9月号・10月号 合同企画展PR
- ④『博物館研究』 10月号 合同企画展PR
- ⑤『美術の窓』生活の友社 10月号 合同企画展PR
- ⑥『月刊文化財発掘出土情報』10月号・11月号
- ⑦東海道・山陽新幹線搭載誌『ひととき』 合同企画展PR

その他、インターネットを利用したPR活動

4. 事業の成果及び今後の課題

(1) 事業の成果

①島根県内では、隣接する地域の小規模館が連携して統一のテーマのもと企画展を実施したことはなく、連携事業の一つの例として残すことができた。

②新聞・テレビを利用した周知事業の効果

合同企画展実施前の周知事業や企画展開催後に行なったイベントに関連しての新聞、テレビによる報道の量は、従来よりはるかに多く、また全国的な雑誌にPRしたこともあって、地元だけではなく隣接地域への周知にも役立った。

③所蔵資料のデータ化

展示図録作成のために、所蔵資料の写真撮影が実施できた。また、制作した図録は、館や所蔵資料の紹介できる資料として、今後の活用にも役立つものとなった。

④地域での活動基盤を見直すことができ、今後の基盤整備の方向が見えた。

古文書をもとに料理再現を行ったり、旧家が果たした役割を映像化するなど、所蔵資料をベースとして利用することで、地域振興に役立てる可能性が見いだせた。また美術品の取扱等から地元の技能保持者など、地元の有識者や地域住民との協働を行うことが、活動基盤の充実や拡大につながる一つの方策であると理解できた。

地元で著名な作家の作品があることを知ってもらうことで、早速に埋もれていた作品の発掘をすることができた。館としてどのような情報を地域に提供するかによって、地元の歴史や文化の掘り起こしに大きな影響を与えることができ、活動基盤の充実の方向と考えられた。

⑤専門業者に展示設計を依頼したことにより、展示方法の改善についてヒントが得られた。

また、絵画中心の陳列の中で、文書資料に対して強い興味を示す人があったことも、展示資料の選択についての示唆があったと思われる。

(2) 今後の課題

①小規模館での展示活動をどのように継続するか。

小規模館としては、従事する職員が少数ということの他に、活動の中心となる展示活動自体が経費面から制限される実情がある。このような実情の中では、関連事業やマスコミ重視の広報活動ではなく、地域住民との協働を考え実施することが、地域活性化や町おこしに繋がると考えられ、その一翼を担うことが館の基盤整備にも通じる。

②異分野の博物館等が連携して展示活動を実施するためのネットワークの充実

県内の博物館・美術館の協議機関はあるが、職員相互の専門性を十分に理解できていないので、展示活動でどのように連携ができるかの情報がない。また、事務職員相互についてはほとんど交換の場がなく、事務的な連携活動が直ちに実施できるかどうかの不安がある。いずれにしても情報交換の機会の充実が必要である。

③地域文化財への関心を高める。

地域の文化財や人材の掘り起こしどころか、それらが埋もれていく状況が続いている中で、町村立や個人財団立の施設は、地域の文化活動の最小拠点であると考えられるが、地域文化が埋もれないようにするような施策が必要ではないのか。

④補助金の問題

今回の事業において、請負代金の支払方法については、途中で一度支払いがあるとか、請求書による精算方法等、小規模館が補助事業に手をあげ易くなる方策を実施していただきたい。それが③で述べたことを含め博物館等の活動基盤整備や活性化につながる。